

学科名	放送芸術科
コース名	
授業科目	映像リテラシー E 2
必選	必
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	長濱和久
実務経験	有
実務経験職種	映像ディレクター/プロデューサー
授業概要	授業の前半では業界時事問題を取り上げ最新の業界動向や問題点を明らかにすると共に後半では映像メディアがビジネスとして成り立つ仕組みを媒体ごとに解説。
到達目標	映像メディア業界の現状に対する理解からテレビ・映像メディアの将来を予測し“考察力”“分析力”の向上を図る。
授業方法	学生の理解度を確認する為に授業内レポートを実施。これらを授業内でフィードバックする事で他者の考えを知る機会を与え自らの考えを導き出す。
成績評価方法	学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
履修上の注意	授業内で取り上げる現状やデータを自ら分析する事で自分自身の考えとして確立する事を求める。授業内での積極的な発言については平常点に加算する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。

授業計画	
第 1 回	映像コンテンツ及び映像制作総論 マルチメディア時代と映像クリエイター現状と将来性
第 2 回	制作フローとスタッフ編成と役割 制作現場の全体を知ること、プロデューサーの仕事を学ぶ
第 3 回	プロデュースするという事は プロデューサーの責任、マネジメントを学ぶ
第 4 回	テレビビジネス・営業 テレビ局のビジネスモデルと視聴率、テレビ営業の仕組みと広告代理店を学ぶ
第 5 回	バラエティー番組 プロデュース ワイドショー、情報バラエティー、お笑い、クイズなどの番組構成を理解する
第 6 回	商業映像 プロデュース 受信料と広告収入、番組はCMの為にある、プロデューサーVSディレクターなどを学ぶ
第 7 回	ドラマ プロデュース キャスティング、予算、スポンサーなどドラマ制作の手順を学ぶ
第 8 回	映画 プロデュース① テレビドラマの映画化、映画業界の繁栄と衰退、ハリウッドを知る、などを学ぶ
第 9 回	映画 プロデュース② 映画制作委員会を知ること映画業界のお金の流れを理解する
第 10 回	スポーツ プロデュース スポーツ大会、スポーツ番組の制作、お金の流れを理解する
第 11 回	ニュース、報道 プロデュース 新聞とニュース番組の違い、報道番組の生業を理解する
第 12 回	インターネット番組 プロデュース インターネット番組の需要と供給を知る
第 13 回	企画プロデュース演習① 番組の企画、プランニング、プロデュースを考えて発表する
第 14 回	企画プロデュース演習② CMの企画、プランニング、プロデュースを考えて発表する
第 15 回	授業復習 試験対策として全授業の復習をする